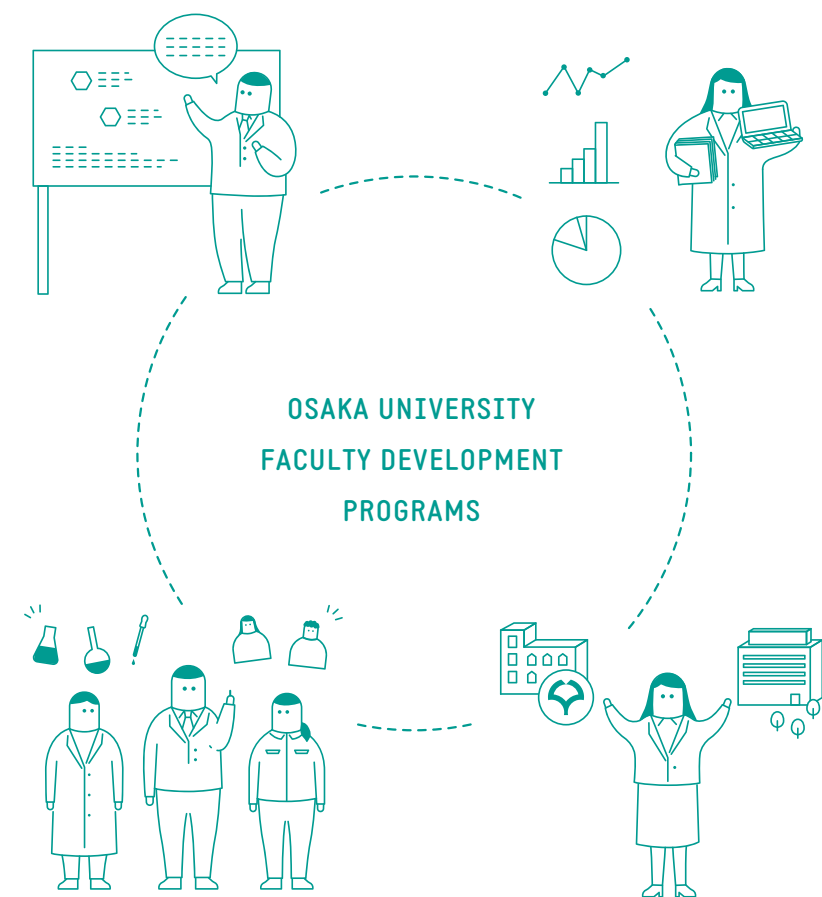


大阪大学教員のための

# ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、  
開催部局にお問い合わせください。

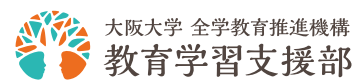


発行

大阪大学 FD 委員会

編集

大阪大学教育・学生支援部教育企画課総務係  
大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部



2024 年度

4 月～9 月

## 大阪大学教員の皆様へ

近年、大学はさまざまな「改革」を社会から求められています。中でもとりわけ重要なことは、高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことです。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究等に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取り組みによって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保証するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと思います。

## 概要

### 大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

#### 教育能力

##### 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。



#### 研究能力

##### 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

#### マネジメント能力

##### 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

#### 社会学連携能力

##### 開発プログラム

緒方洪庵が開いた道塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

## 新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部署が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2024年前期のプログラムも多岐にわたる研修が開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長(教育担当)  
田中敏宏

### 🕒 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後3年間で30時間のプログラムを受講してください。研修プログラムは分野ごとに4つのカテゴリーに分かれております。

#### 各プログラムの受講必須時間

- ▶ 教育能力 開発プログラム ..... 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム ..... 4時間以上
- ▶ 社会学連携能力 開発プログラム ..... あわせて6時間以上
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム ..... あわせて6時間以上

※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハндаイ」内「大阪大学CLE(授業支援システム)」の「コミュニティページ」にて確認することができます。

### 📄 新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。



#### 「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム(大学院生を対象とした教育能力開発プログラム)を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部署の事務にお問合せください。

#### 修了証書

殿  
あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します

年 月 日  
大阪大学理事・副学長

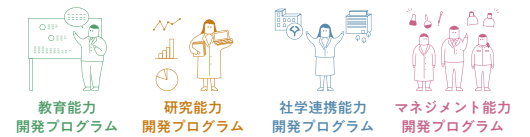
### 📄 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部(旧:教育学習支援センター)では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します(上限120時間)。

詳しくは、こちら → [https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\\_program/](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/)

研修プログラム一覧〈令和6年度上期(2024.4～2024.9)通年開催分〉

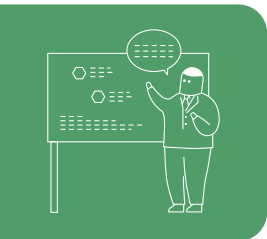
※掲載内容は2月末時点の情報です。  
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
4月									
研究	P.16	○	総合解析センター説明会	対面	4月3日 13:45-16:45	3	50名	日本語	産業科学研究所
教育	P.6	-	アクティブ・ラーニング	オンライン	4月11日 13:30-15:00	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	-	授業デザインの方法	オンライン	4月18日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	-	本学における障がい学生支援	オンライン	4月25日 12:15-13:30	1.25	制限なし	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.7	-	授業における生成AIの活用法	対面	4月26日 16:50-18:20	1.5	25名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
5月									
研究	P.16	-	研究室の教育指導	オンライン	5月15日,17日 各日13:00-15:00	2	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	-	わかりやすく記憶に残る講義法	オンライン	5月15日,17日 各日15:30-17:30	2	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	-	外国人留学生のキャリア支援	オンライン	5月20日 10:30-11:30	1	制限なし	日本語	キャリアセンター/ 国際教育交流センター
教育	P.8	-	障がい学生のキャリア支援【修学支援編】 ～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～	オンライン	5月20日 12:15-13:15	1	制限なし	日本語	キャリアセンター/キャンパス ライフ健康支援・相談センター
教育	P.8	-	障がい学生のキャリア支援【就職支援編】 ～職場への定着を見据えた精神・発達障がい者の就労支援～	オンライン	5月20日 13:45-14:45	1	制限なし	日本語	キャリアセンター/キャンパス ライフ健康支援・相談センター
教育	P.8	-	障がい学生のキャリア支援【インターンシップ編】 ～精神・発達障がいのある大学生のためのインターンシップ～	オンライン	5月20日 15:15-16:15	1	制限なし	日本語	キャリアセンター/キャンパス ライフ健康支援・相談センター
教育	P.9	-	博士課程大学院生・ポストクのキャリア支援【知識編】	オンライン	5月21日 10:30-11:30	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
教育	P.9	-	博士課程大学院生・ポストクのキャリア支援【指導編】	オンライン	5月21日 12:00-13:00	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
教育	P.6	-	アクティブ・ラーニング	オンライン	5月23日 15:10-16:40	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
6月									
社会学連携	P.21	-	阪大ブランドの発信地としての大学博物館	対面	6月7日 13:30-15:00	1.5	15名	日本語	総合学術博物館
教育	P.9	-	学生のメンタルヘルス不調	対面	6月10日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.10	-	学生の心理	対面	6月19日 13:30-15:00	1.5	30名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
7月									
教育	P.10	-	令和6年度版シラバスの書き方	オンライン	7月11日 13:30-15:30	2	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
9月									
教育	P.10	-	大学におけるカルト問題	オンライン	9月5日 13:30-15:00	1.5	60名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.11	○	国際交流科目担当教員及びTA予定者対象 オリエンテーション並びにFD研修	オンライン	9月9日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	国際教育交流センター
複数月開催									
教育	P.11	-	授業づくりワークショップ	オンライン	5月18日,19日 9月5日,6日	20 (5月18日・19日 各1時間/9月5日・6日 各1時間)	16名 (最小開催人数+2)	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.16	○	RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers	対面	8月～9月に 4回開催	1.5 ×4回	20名	English	微生物病研究所
未定									
研究	P.17	○	不正防止について	オンデマンド	未定	0.33	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所/ 免疫学フロンティア研究センター
マネジメント	P.22	○	産研メンター制度利用者に向けての講演会	対面 オンデマンド	対面:未定 オンデマンド: 対面開催後～3月31日	2	対面:50名 オンデマンド: 制限なし	日本語	産業科学研究所
教育	P.11	○	理学教育カリキュラム反省会	オンライン	未定	2.5	150名	日本語	理学研究科
マネジメント	P.22	○	基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会	オンライン	未定	3	制限なし	日本語	基礎工学研究科
マネジメント	P.22	○	工学研究科新任者研修	対面	未定	6(予定)	約30名	日本語	工学研究科
研究	P.17	-	研究者のキャリア形成における URA (University Research Administrator) との接点について	オンデマンド	4月配信開始予定	1	制限なし	日本語	経営企画オフィス
マネジメント	P.23	○	大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)	オンデマンド	4月1日～3月31日 (予定)	2	制限なし	日本語	総務部人事課人材育成係
マネジメント	P.23	○	産研安全講習会	オンデマンド	4月中旬～5月中旬	2	制限なし	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.23	○	バイオセーフティ講習会	オンデマンド	4月下旬～5月下旬 にアップロード予定	2	50名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.23	-	新入教職員安全衛生講習会	対面(未定) オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月頃(未定) オンデマンド: 6月頃～3月末	1	未定	日本語	安全衛生管理部
社会学連携	P.21	-	アートを通じた社会との共創～中之島芸術センターの活用	対面	5月～7月頃 (日程未定)	1.5	15名程度	日本語	中之島芸術センター
マネジメント	P.24	○	蛋白研安全講習会	対面又は オンライン	未定(5月頃)	1	200名程度	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P.24	-	大阪大学化学薬品管理支援システム(OCCSM) の利用について	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬～下旬 オンデマンド: 6月頃～3月末	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.24	-	実験系廃液・排水の取扱い	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬～下旬 オンデマンド: 6月頃～3月末	1	未定	日本語	安全衛生管理部

カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
未定									
マネジメント	P.24	-	非化学系のための化学薬品取扱講習	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬～下旬 オンデマンド: 6月頃～3月末	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.25	-	詳解:化学物質安全取扱講習	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬～下旬 オンデマンド: 6月頃～3月末	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.25	-	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編)	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬～下旬 オンデマンド: 6月頃～3月末	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.25	-	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編)	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬～下旬 オンデマンド: 6月頃～3月末	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.25	-	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬～下旬 オンデマンド: 6月頃～3月末	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.26	-	電気コンセントと電気配線の安全講習	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬～下旬 オンデマンド: 6月頃～3月末	1	未定	日本語	安全衛生管理部
教育	P.7	-	外国人留学生のキャリア支援	オンデマンド	未定～2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター/ 国際教育交流センター
教育	P.8	-	障がい学生のキャリア支援【修学支援編】 ～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～	オンデマンド	未定～2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター/キャンパス ライフ健康支援・相談センター
教育	P.8	-	障がい学生のキャリア支援【就職支援編】 ～職場への定着を見据えた精神・発達障がい者の就労支援～	オンデマンド	未定～2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター/キャンパス ライフ健康支援・相談センター
教育	P.8	-	障がい学生のキャリア支援【インターンシップ編】 ～精神・発達障がいのある大学生のためのインターンシップ～	オンデマンド	未定～2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター/キャンパス ライフ健康支援・相談センター
教育	P.9	-	博士課程大学院生・ポストクのキャリア支援【知識編】	オンデマンド	未定～2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
教育	P.9	-	博士課程大学院生・ポストクのキャリア支援【指導編】	オンデマンド	未定～2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
マネジメント	P.26	○	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 6月下旬～7月上旬 ※開催形式未定 オンデマンド: 10月～11月頃	1	対面:未定 オンデマンド: 制限なし	日本語	理学研究科
マネジメント	P.26	-	ハラスメント防止等に関する研修会	オンライン	7月上旬(日時未定)	2	制限なし	日本語	人権問題委員会
マネジメント	P.26	-	より良い人間関係の育み方	対面	7月開催予定	1.5	30名	日本語	工学研究科
マネジメント	P.27	-	事例検討ハラスメント防止のために	対面	7月開催予定	1.5	30名	日本語	工学研究科
教育	P.12	-	自殺防止セミナー	対面	8月開催予定	1.5	30名	日本語	工学研究科
研究	P.17	○	研究倫理教育に関する説明会	対面	8月上旬頃 14:00-15:00	1	130名	日本語	産業科学研究所
教育	P.12	-	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FDフォーラム)	オンライン オンデマンド	オンライン:9月頃 オンデマンド: 10月頃～3月	2.5	オンライン: 300名 オンデマンド: 制限なし	日本語	ファカルティ・ ディベロップメント委員会
教育	P.12	-	英語版授業づくりワークショップ (教育の国際化のためのFDワークショップ-学習者中心のアプローチを学ぶ-)	対面	9月頃(未定) 9:00-15:15	計12	約15名	English	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.18	-	産学共創により研究成果を社会実装するには!	対面 オンライン	9月頃(2日間) 16:00-18:00	計4	100名	日本語	共創機構
随時・定期開催									
研究	P.18	○	ISTランチセミナー	対面	週1回程度 12:00-13:00	各回1	各回20名	日本語/ English	情報科学研究科
研究	P.18	○	生命機能研究科コロキウム	対面 オンライン	毎週火曜日 12:15-13:00	0.75	100名まで	日本語/ English	生命機能研究科
研究	P.19	-	アドバンストセミナー	対面 オンライン	毎月1回(8月,3月を除く) 16:00-17:00	各回1	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所/ 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.19	○	微研集談会	対面	毎月第4火曜日 (8月,12月,1月を除く) 16:00-17:00	1	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所/ 免疫学フロンティア研究センター
教育	P.13	○	FD研修会	対面	隔月1回程度 (日程未定)	各回 1程度	60名程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P.19	○	蛋白研コロキウム	対面又は オンライン	隔月1回程度 (日程未定)	各回 1程度	60名程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P.19	○	ISTネットワークングイベント	対面 オンライン	隔月(年間5回)	各回 1.5	各回30名 程度	日本語	情報科学研究科
教育	P.13	-	CLE講習会(入門編)	オンデマンド	4月1日～3月31日	2	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	-	CLE講習会(応用編)	オンデマンド	4月1日～3月31日	2	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.14	-	オンラインビデオ教材作成法(Echo編)	オンデマンド	4月1日～3月31日	1.5	制限なし	日本語	チュード・ ライフサイクルサポートセンター サイバーメディアセンター 全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.14	-	シラバスの書き方	オンデマンド	4月1日～3月31日	3	制限なし	日本語/ English Sub	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.15	-	学習評価	オンデマンド	4月1日～3月31日	3	制限なし	日本語/ English Sub	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.20	-	オープンサイエンス時代における 研究データマネジメントの基礎について学ぶ	オンデマンド	4月1日～3月31日	1	制限なし	日本語	オープンサイエンス推進室
教育	P.15	-	パワーポイントを使った講義動画制作	オンデマンド	4月10日～3月31日	1.5	制限なし	日本語	チュード・ ライフサイクルサポートセンター
教育	P.15	-	教育のための実践型動画制作	オンデマンド	4月10日～3月31日	1.5	制限なし	日本語	チュード・ ライフサイクルサポートセンター
研究	P.20	-	オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援	オンデマンド	6月1日～3月31日	1	制限なし	日本語	附属図書館/ 経営企画オフィスURA部門





## 教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

## アクティブ・ラーニング

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)  
長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)

**オンライン** 4月11日 13:30-15:00、5月23日 15:10-16:40

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせるアクティブ・ラーニング型授業をデザインする方法についても考えます。

《問合先》全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法》全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

## 授業デザインの方法

講師：長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)

**オンライン** 4月18日 13:30-15:00

〈キーワード〉教育技法、授業設計、学習目標、学習評価

〈概要〉現在の大学教員には、アクティブ・ラーニングやICTツールなどを必要に応じて駆使していく多様な教育能力が求められています。しかし、これらの先進的な教育技法を最大限に活かすためには、授業の骨組みとなるしっかりした授業デザインが不可欠です。そこで本研修では、まず教育学の理論に基づいた授業デザインの基本的な方法論について学びます。そして、それらの方法論を踏まえながら、実際に自身の授業デザインを改善するワークに取り組んでもらいます。この機会に、授業の質を高める新しいスキルを身につけましょう。  
※参加者は、研修内のワークで改善したいご自身の講義を一つご用意ください。まだ講義を担当されたことがない場合は、1回分の講義の構想をご用意ください。

《問合先》全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法》全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



20名 1.5時間 日本語 オンライン

## 本学における障がい学生支援

講師：望月直人(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

**オンライン** 4月25日 12:15-13:30

〈キーワード〉合理的配慮、説明

〈概要〉差別解消法に基づく法的義務として、本学におけるコンプライアンスとして障がい学生支援に求められる知識や障がいのある学生への基本的対応を身につけることを目的とします。ダイバーシティ&インクルージョンが推進される本学において、障がいをはじめ多様な人材で構成される大学の今後のあり方についても考える機会とします。

《問合先》キャンパスライフ健康支援・相談センター ☐ [campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法》1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。  
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

制限なし 1.25時間 日本語 オンライン

定員

受講時間

使用言語

研修形式

## 授業における生成 AI の活用法

講師：浦田悠(全学教育推進機構 准教授)  
長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)  
村上正行(全学教育推進機構 教授)

**豊中** 4月26日 16:50-18:20

〈キーワード〉生成AI、学習評価、レポート、ICT活用

〈概要〉本研修では、まずChat GPTに代表される生成AIの特徴、および教育現場における最新の動向を学びます。その上で、生成AIが授業デザインや学習評価にどのような影響を与える可能性があり、それをどのように活用できるかについて参加者で考えます。主にレポート課題を課す授業を担当されており、「まだChat GPTがどういものかよくわからないので知りたい」「授業デザインや学習評価に役立つなら使ってみよう」というようなニーズをお持ちの方向けの内容です。  
※受講の際は、Chat GPT (<https://chat.openai.com/>) のアカウントを事前に取得してください。  
※パソコン(PC・Mac)をご持参ください。

《問合先》全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法》全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までに申し込みください。》

25名 1.5時間 日本語 対面



## わかりやすく記憶に残る講義法

講師：佐藤浩章(学際大学院機構 教授)

**オンライン** 5月15日、17日 各日15:30-17:30

〈キーワード〉講義法、情報伝達、理解、記憶

〈概要〉授業中に「本当に伝わっているのかな？」と不安になることはありませんか。その不安を解消するために、講義法の基礎的な内容を学んでみませんか。講義法で大切なことは、学生が知識を理解し記憶するメカニズムを踏まえて、わかりやすく記憶に残るように教えることです。本プログラムではその理解を踏まえて、効果的な技法を習得することを目指します。学会発表や市民向け公開講座にも応用できる内容です。

《問合先》全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ [tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法》全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



制限なし 2時間 日本語 オンライン

## 外国人留学生のキャリア支援

講師：魚崎典子

**オンライン** 5月20日 10:30-11:30 **オンデマンド** 未定-2月末

〈キーワード〉外国人留学生、キャリア支援、就職活動

〈概要〉政府は「日本再興戦略2016」を提言し、外国人留学生の日本国内での就職率を向上させるという目標を掲げました。その結果、産官学が連携した留学生就職支援の様々な試みが行われています。しかしながら世界に類を見ない日本の複雑な就活プロセスが留学生の日本での就職を困難にしています。本セミナーでは留学生に対して就職支援を行うにあたって直面する種々の問題とその解決策について学びます。  
〈目的〉外国人留学生の日本での就職の現状と課題を把握し、外国人留学生にキャリアサポートを行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とします。

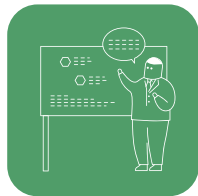
《問合先》キャリアセンター ☐ [fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法》オンライン研修は前日までに申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。  
申込URL：[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_pPtP8QERRkWpeApiqnQLpQ](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_pPtP8QERRkWpeApiqnQLpQ)  
オンデマンド配信はCLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》



制限なし 1時間 日本語 オンライン  
オンデマンド

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### 障がい学生のキャリア支援【修学支援編】 ～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～

講師：村田 淳(京都大学 学生総合支援機構 准教授)

オンライン 5月20日 12:15-13:15 オンデマンド 未定-2月末

〈キーワード〉就職支援、障がい学生支援、合理的配慮

〈概要〉障害者差別解消法(2016年4月施行)により、国公立大学では障がいのある学生に対する合理的配慮の提供が義務化され、修学上の障がい学生支援体制は整備されつつあります。しかし、このような障がいのある学生に対するキャリア・就職支援は、多くの大学において十分なノウハウがありません。就職活動そのものに対する支援のあり方だけでなく、障がいのある学生の社会進出のプロセスとして、総合的なキャリア支援の必要性について理解を深めます。

〈目的〉障がいのある学生(障がい特性のある学生を含む)の就職活動の支援について基本的な知識を身につけるとともに、修学支援のプロセスも含めた総合的なキャリア支援の必要性について考える機会とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☞ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：オンライン研修は前日までに申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。  
申込URL：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\_TykRmoWeRtmVoPiqYct4Tg  
オンデマンド配信はCLE(キャリアセンターFD)に掲載します。》



### 博士課程大学院生・ポスドクのキャリア支援 【知識編】

講師：松尾 誠二(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)

オンライン 5月21日 10:30-11:30 オンデマンド 未定-2月末

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、研究、インターンシップ

〈概要〉博士後期課程への進学を修了後のキャリアパスが不透明という理由で躊躇する学生が少なくありません。しかし、実態は必ずしもそうではありません。正しい情報を学生に伝えて、キャリア選択の幅を広げるべく、博士の意識、企業の考え、各種統計データを共有し、就活の実務や研究インターンシップ等のキャリア教育まで含めて学びます。

〈目的〉博士課程大学院生・ポスドクの現在の就職状況を各種データに基づいて正しく理解し、研究活動とキャリア教育を両立させるための研究インターンシップについて知り、学生に還元できることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☞ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：オンライン研修は前日までに申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。  
申込URL：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\_z5rwAcqjRoelY2glO5UeXg  
オンデマンド配信はCLE(キャリアセンターFD)に掲載します。》



### 障がい学生のキャリア支援【就職支援編】 ～職場への定着を見据えた精神・発達障がい者の 就労支援～

講師：池田 浩之(兵庫教育大学 助教)

オンライン 5月20日 13:45-14:45 オンデマンド 未定-2月末

〈キーワード〉就労支援、障がい学生支援、合理的配慮、精神障がい、発達障がい

〈概要〉精神障がい・発達障がいのある方の卒後の就職・就労支援に関する現状をお伝えしていきます。教育・医療・福祉・産業領域をまたぐ「働く」ための支援はどのようなものであるのか、対個人の支援から、対環境(企業)への支援まで、社会制度と合わせてご紹介いたします。講師は臨床心理学(認知行動療法)の専門であるため、心理的支援を中心にお伝えします。

〈目的〉障がいのある学生等、一般の就職活動とは違う形での就職活動が必要な学生の支援を行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☞ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：オンライン研修は前日までに申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。  
申込URL：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\_GAhWhpjeT6iq7Kk6T5prJQ  
オンデマンド配信はCLE(キャリアセンターFD)に掲載します。》



### 博士課程大学院生・ポスドクのキャリア支援 【指導編】

講師：松尾 誠二(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)

オンライン 5月21日 12:00-13:00 オンデマンド 未定-2月末

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、学生指導、コーチング・スキル

〈概要〉博士課程大学院生・ポスドクの就職活動に関しては情報が少なく、学生も苦勞する傾向があります。企業の博士採用に関する情報を基に、民間企業就職を希望する博士課程学生に対してアドバイスをする方法(コーチング・スキルやコミュニケーション・スキルを含む)を学びます。

〈目的〉博士課程大学院生・ポスドクの就活の実情を知り的確なサポートができるようになり、博士進学が就職かを悩んでいる修士の学生に正しい情報を伝え、キャリア選択の幅を広げるべく支援できることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☞ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：オンライン研修は前日までに申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。  
申込URL：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\_NQq3ViyNRBGvVbwiFiY7Kg  
オンデマンド配信はCLE(キャリアセンターFD)に掲載します。》



### 障がい学生のキャリア支援【インターンシップ編】 ～精神・発達障がいのある大学生のための インターンシップ～

講師：吉田 裕子(マザーシップキャリア支援研究所 所長)

オンライン 5月20日 15:15-16:15 オンデマンド 未定-2月末

〈キーワード〉インターンシップ、障がい学生支援、合理的配慮、精神障がい、発達障がい

〈概要〉精神・発達障がいのある大学生のキャリア支援において、学生が自身の障がい特性や就労準備性について自己理解を深めること、支援者が修学支援とは別の視点からどのような支援が必要かを知ることが重要です。そのために非常に有効な手段となる「インターンシップ」に焦点をあて、どのような社会資源があり、どのように実施され効果が検証されているのか、事例を中心にご紹介いたします。

〈目的〉障がいのある学生等、一般とは違う形での就職活動が必要な学生の支援を行う上で必要な基本的な知識を身につけるとともに、学外の関係機関との有機的な連携について考える機会となることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☞ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：オンライン研修は前日までに申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。  
申込URL：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\_2wpsXB\_JTOKaT51atMOMqA  
オンデマンド配信はCLE(キャリアセンターFD)に掲載します。》



### 学生のメンタルヘルス不調

講師：足立 浩祥(キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授)

豊中 6月10日 13:30-15:00

〈キーワード〉心理的問題、ストレス、精神疾患、発達障がい

〈概要〉まず、上記テーマ(学生にみられるストレス反応やメンタルヘルス不調、発達障がいの特徴と対応)について講義形式で学びます。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深めます。

〈目的〉本研修は、学生がキャンパスライフで陥りやすいメンタルヘルス不調とその背景、対応について、基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 ☞ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

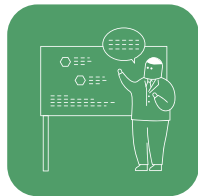
《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。  
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》



- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。





## 教育能力 開発プログラム

### 学生の心理

講師：石金直美(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

**吹田** 6月19日 13:30-15:00

〈キーワード〉学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ

〈概要〉本研修は、最近の学生の心理的特徴や心理的問題に対する理解を深め、よりよいコミュニケーションの取り方を身につけることを目的とします。まず上記のテーマ(学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ)について講義形式で学びます。後半は模擬事例を用いてディスカッションや簡単なロールプレイを行います。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 [✉ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。  
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》



### 令和6年度版シラバスの書き方

講師：長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)

**オンライン** 7月11日 13:30-15:30

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、来年度からフォーマットが変更されたシラバスの作成方法を身につけます。ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。  
\*参加者はご自身のシラバス(どれか1つ)を持参ください。ご自身のシラバスがない方は、専門領域に近い科目等のシラバスを1つご持参ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト(<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>)にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



### 大学におけるカルト問題

講師：太刀掛俊之(キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授)

**オンライン** 9月5日 13:30-15:00

〈キーワード〉カルト予防、安全配慮義務、心理的問題

〈概要〉本研修では、大学におけるカルト問題の現状とその背景について把握し、学生や教職員における予防とともに、問題が生じた場合の対応について理解を深めることを目的とします。講義形式で実施するとともに、担当講師と意見交換を行い、学生支援に対する理解を深めます。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 [✉ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。  
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》



**限定** 国際交流科目担当者及び国際交流科目に興味のある構成員

### 国際交流科目担当教員及びTA予定者対象 オリエンテーション並びにFD研修

講師：石倉佑季子(国際教育交流センター 准教授)

**オンライン** 9月9日 13:30-15:00

〈キーワード〉国際交流科目、英語による授業

〈概要〉毎年世界各国の協定校から多数の交換留学生が受講する国際交流科目は、その単位互換のため、授業の質保証が強く求められています。また英語で開講されること、本学の一般学生も同時に受講することなど、配慮や工夫が求められる場面も多くあります。そのため、国際交流科目特有の問題や悩みをテーマとして取り上げ、参加者同士で実践事例を共有しながら、英語による授業を実施する上で必要な知識やスキルを身につけることを目的としています。近年シラバスの整備や充実が求められており、シラバスをより具体化することで授業の質の向上に繋がると言われています。そこで「国際交流科目のシラバスをブラッシュアップする～学生がわかりやすいシラバスとは～」というテーマでFDを行い、これまでのシラバスを見直す機会を設けることができたらと考えています。

《問合せ先：国際教育交流センター 短期プログラム開発研究チーム(担当：川上) [✉ kawakami-yuki@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kawakami-yuki@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：8月に国際交流科目担当教員宛に係る通知を予定。  
メールにて申し込むこと(新任教員研修対象者は個人IDを記載のこと)。》



### 授業づくりワークショップ

講師：佐藤浩章(学際大学院機構 教授)

村上正行(全学教育推進機構 教授)

浦田悠(全学教育推進機構 准教授)

金賢真(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)

長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)

楠本真二(全学教育推進機構/情報科学研究科 教授)

**オンライン** 5月18日、19日、9月5日、6日

〈キーワード〉コースデザイン、学習者中心、シラバス、クラスデザイン、マイクロティーチング

〈概要〉本ワークショップでは、学習者中心の授業の設計方法を学んだうえで、ご自身のシラバスや授業のブラッシュアップを行います。対面授業をどのようにオンライン授業に移行していけば良いのか?オンライン授業と対面授業をどのように組み合わせたら良いのか?今回の授業づくりワークショップでは、通常の内容に加え、オンライン時代の授業づくりを検討します。専門家からのフィードバックをもらい、同じ悩みや不安を抱えた教員と改善のアイデアを練ることで、授業のさらなる質向上を目指します。単発で開催されているシラバス作成法、講義法、アクティブ・ラーニング、学習評価、ルーブリック評価の内容を集中的に学ぶことができるという点で効率的です。  
\*パソコン及び改善したいシラバスをご準備ください。  
\*全課程修了後に修了証が授与されます。  
\*途中からの参加・退出はご遠慮ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト(<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>)にて、開催2週間前までに申し込みください。》



**限定** 理学研究科のみ

### 理学教育カリキュラム反省会

講師：井上正志(理学研究科 教授)

藤原彰夫(理学研究科 教授)

**オンライン** 未定

〈キーワード〉新カリキュラム、プロジェクト教育、教育改革

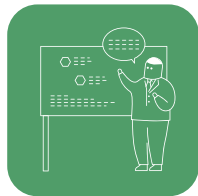
〈概要〉新カリキュラム、プロジェクト教育及び大阪大学における教育改革等について報告・議論します。

《問合せ先：理学研究科 学務係 [✉ ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：3月中旬に理学研究科全教員にメール配信するため、事前の受講申込の必要はありません。》



※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### 自殺防止セミナー

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

**吹田** 8月開催予定

〈キーワード〉孤立無援感の危機、メンタル不調の早期発見、共感力

〈概要〉学生のみならず、大阪大学全構成員の心の健康維持増進に寄与することを目的として、メンタル不調の早期発見、孤立無援感を払拭する在り方、関わり方について、「共感の重要性」「早期発見」「危機介入」を中心に、ご紹介させていただきます。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室  
✉ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールで申し込みください。  
✉ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



### 大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FDフォーラム)

講師：未定

**オンライン** 9月頃 **オンデマンド** 10月頃-3月

〈キーワード〉教育改革、ブレンデッド教育、メディア授業、アクティブ・ラーニング等

〈概要〉本学教員に対し、ファカルティ・ディベロップメントの機会を提供し、教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的とします。

1. 基調講演またはパネルディスカッション：参加者全員を対象として情報提供を行います
2. グループセッション

《問合せ先：教育・学生支援部 教育企画課 総務係 ✉ gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：7~8月頃に各部署宛に受講者募集に係る通知を予定。》



### 英語版授業づくりワークショップ (教育の国際化のためのFDワークショップ - 学習者中心のアプローチを学ぶ -)

講師：有川友子(国際教育交流センター 教授)

**豊中** 9月頃 (未定) 9:00-15:15

〈キーワード〉Course Design, Course Content, Learning Outcomes, Assessment, Instructional Strategies, Microteaching

〈概要〉In this workshop, participants will learn about teaching and learning through a learner-centered approach by learning and practicing the theory of course design and through two micro-teaching sessions (mock classes). Participants will learn about the four themes of course design (Course Content, Learning Outcomes, Assessment Methods, and Instructional Strategies) and design their own courses in the morning session.

During the microteaching session in the afternoon, each participant will give a 5-minute microteaching session on his/her own subject and receive comments and feedback from the instructor, co-instructors (former workshop participants), and other participants. By the time of the second microteaching session, participants will have prepared for the second microteaching session by considering areas for improvement.

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/) にて、開催2週間前までに申し込みください。》



限定 蛋白質研究所

### FD研修会

講師：各回によって異なる

**吹田** 隔月1回程度 (日程未定)

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 ✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部署構成員宛てメールにて通知予定。》



### CLE 講習会 (入門編)

講師：外部講師

白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)

浦西友樹(サイバーメディアセンター 教授)



**オンデマンド** 4月1日-3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》

### CLE 講習会 (応用編)

講師：外部講師

白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)

浦西友樹(サイバーメディアセンター 教授)



**オンデマンド** 4月1日-3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

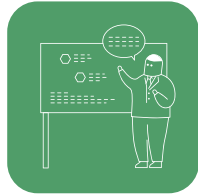
《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》



※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。





## 教育能力 開発プログラム

### オンラインビデオ教材作成法 (Echo 編)

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 教授)  
浦田悠(全学教育推進機構 准教授)



制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月1日-3月31日

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できるecho360社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。専用のアプリケーションとウェブカメラ（内蔵 or 外付け）を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用の他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材を作成する方法を学び、授業等での活用方法をご検討いただきます。\*受講の際は（可能であればウェブカメラ付の）パソコン（WindowsもしくはMac）および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。  
\*ご自身のCLEのコースをお持ちでない教職員の方は、別途Echo窓口（echo360@mLoffice.osaka-u.ac.jp）までご連絡ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。》

### シラバスの書き方

講師：佐藤浩章(学際大学院機構 教授)



制限なし 3時間 日本語 English Sub オンデマンド

オンデマンド 4月1日-3月31日

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。教員の採用や昇進時に、シラバスが評価されることも多くなっています。本セミナーでは、学生の学習を最大限に促すために、シラバスの書き方を身につけます。本学で推奨しているブレンドド授業を取り入れた授業設計についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス（どれか1つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスを提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業のシラバスを送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、左のメニュー「コミュニティ」をクリックしていただき、右上に表示される「コミュニティカタログ」のページの「カタログの検索」にて「FDプログラム動画教材」を検索いただき、コミュニティID「com-2023-0012」横の「V」から「登録」の上、コミュニティに参加ください。登録後、左のメニューから「コミュニティ」に再度アクセスし、「com-2023-0012 FDプログラム動画教材」を選択いただきますと、「オンデマンドセミナー」というフォルダーが表示されます。そこからご希望のFD講座を選択し、受講してください。一度「FDプログラム動画教材」に登録すると、プログラムごとの個別申込は必要ありません。》

### 学習評価

講師：佐藤浩章(学際大学院機構 教授)



制限なし 3時間 日本語 English Sub オンデマンド

オンデマンド 4月1日-3月31日

〈キーワード〉授業・学習、評価、成績評価

〈概要〉学習評価とは、授業の到達目標の達成度合いを測定することです。本セミナーでは、学生の学習を適切に評価し、さらなる学習を促すために、学習評価方法を身につけます。本学で推奨しているブレンドド授業を取り入れた授業における学習評価についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス（どれか1つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスの成績評価欄を提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業を想定して送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、左のメニュー「コミュニティ」をクリックしていただき、右上に表示される「コミュニティカタログ」のページの「カタログの検索」にて「FDプログラム動画教材」を検索いただき、コミュニティID「com-2023-0012」横の「V」から「登録」の上、コミュニティに参加ください。登録後、左のメニューから「コミュニティ」に再度アクセスし、「com-2023-0012 FDプログラム動画教材」を選択いただきますと、「オンデマンドセミナー」というフォルダーが表示されます。そこからご希望のFD講座を選択し、受講してください。一度「FDプログラム動画教材」に登録すると、プログラムごとの個別申込は必要ありません。》

### パワーポイントを使った講義動画制作

講師：権藤千恵(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)



制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月10日-3月31日

〈キーワード〉動画制作、教材制作、オンライン授業、ブレンド型授業

〈概要〉本プログラムでは、パワーポイントを使った簡単な動画教材の制作ができるようになることを目指します。講義ビデオで取り上げる内容は次の通りです。①動画教材を使うメリット②ビデオフォーマットの種類③パワーポイントによる動画作成の手順④動画の公開方法⑤スライド作成の注意点⑥動画公開の注意点  
\*本プログラムはオンライン（オンデマンド型）で実施します。  
\*受講の際にはパワーポイントをインストールしたパソコンをご準備ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。》

### 教育のための実践型動画制作

講師：権藤千恵(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)



制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月10日-3月31日

〈キーワード〉動画制作、教材制作、オンライン授業、ブレンド型授業

〈概要〉本プログラムでは、大学教職員自らが撮影から編集までの動画制作スキルを身につけることを目指します。講義ビデオで取り上げる内容は次の通りです：①動画を制作するメリット・デメリット②教育現場における動画活用例③動画の企画④撮影準備⑤撮影⑥ショットリストを使った撮影⑦PCへのデータ取り込み⑧Adobe Rushを使った編集⑨YouTubeでの配信  
\*本プログラムはオンライン（オンデマンド型）で実施します。  
\*受講の際にはスマートフォンやカメラ、編集用のパソコンをご準備ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。》

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンド」(FD関係)にてご確認ください。





## 研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

限定 産業科学研究所

## 総合解析センター説明会

講師：鈴木健之(産業科学研究所 准教授)  
他 9 名

吹田 4月3日 13:45-16:45

〈キーワード〉分析法、装置の原理、適用範囲、予約法

〈概要〉まず分析の基本となる、装置の分類についての概要を学びます。その後、種類別に測定法の原理と測定装置の仕組み、研究への応用例について学びます。また、測定装置を利用する際の利用方法、共同利用するうえでのマナーおよび安全上の注意について学びます。

《問合せ先：産業科学研究所 総合解析センター 》  
✉ cac-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp 》

《申込方法：産業科学研究所内に受講者募集に係る通知を予定（日時未定）。》

50名 3時間 日本語 対面

## 研究室の教育指導

講師：佐藤浩章(学際大学院機構 教授)  
橋爪章仁(理学研究科 教授)

オンライン 5月15日、17日 各日13:00-15:00

〈キーワード〉研究室教育、研究室マネジメント、研究室理念（ラボ・ポリシー）

〈概要〉ゼミや研究室での研究指導はうまくいっているでしょうか。研究室教育は日本が誇る大学教育の方法です。徒弟制を基盤としたこの教育方法をうまく実施するためには、徒弟制教育の特徴を理解し、研究室の理念（ラボ・ポリシー）の共有、年間に渡る教育イベントの設計など、いくつかの押さえるべきポイントがあります。阪大での優れた研究室教育の事例を通して、自身の所属する研究室へどう実装するかを考える機会とします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 》  
✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp 》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト（http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/）にて、開催前日の15時までに申し込みください。》

制限なし 2時間 日本語 オンライン

限定 微生物病研究所

## RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers

講師：Neville Greening (講師)

吹田 8月～9月に4回開催

〈キーワード〉Academic English, Scientific writing skills, English presentation skills, English communication skills, Group work

〈概要〉英語による研究プレゼンテーションについて基礎から学びます。またプレゼンテーションスキルだけでなく、質疑応答も行き、英語によるコミュニケーションや対応のノウハウも学ぶことができます。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 》  
✉ kikaku@biken.osaka-u.ac.jp 》

《申込方法：開催約1か月前にメール通知後、メールによる参加受付。》

20名 1.5時間 ×4回 English 対面

限定 微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター

## 不正防止について

講師：微生物病研究所長

オンライン 未定

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC諸施設の利用に関する合同オリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReCに所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー（オンデマンド）が行われます。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務付ける。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とします。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 》  
✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp 》

《申込方法：4月はじめに各分野宛に受講者募集に係る通知。  
受講希望者は、申込フォームを記入しメールにて上記担当部署まで申し込む。》

制限なし 0.33時間 日本語 オンデマンド English

## 研究者のキャリア形成における URA (University Research Administrator) との接点について

講師：経営企画オフィス URA

オンライン 4月配信開始予定

〈キーワード〉URA、研究推進、外部資金、IR

〈概要〉本研修は、研究者のキャリア形成におけるURAとの接点について、①「URAを活用する」、②「URAになる」の二部構成で説明します。第1部「URAを活用する」では、URAが提供する研究活動発展のための学内プログラム等を説明します。第2部「URAになる」では、研究者キャリアを活かして活躍しているURAの事例を紹介し、研究者の日頃の活動にはURA的側面が含まれることを理解し、研究者としての今後の活動やキャリア形成についての新たなヒントを得ていただくことを目的とします。

《問合せ先：経営企画オフィス URA部門 》  
✉ URA-Training@ml.office.osaka-u.ac.jp 》

《申込方法：事前申込は不要です。大阪大学CLEにて動画を配信します。》

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

限定 産業科学研究所

## 研究倫理教育に関する説明会

講師：産業科学研究所長  
倫理委員会委員長

吹田 8月上旬頃 14:00-15:00

〈キーワード〉研究倫理

〈概要〉研究所長及び研究倫理担当教授による研究活動を行う上で、遵守すべき研究倫理教育を行います。

《問合せ先：産業科学研究所 総務課 総務係 》  
✉ sanken-soumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp 》

《申込方法：開催の約1か月前に所内周知を予定。  
受講希望者は、各研究分野・附属施設ごとに取りまとめの上、メールにて担当部署まで申し込む。》

130名 1時間 日本語 対面

定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 研究能力 開発プログラム

## 産学共創により研究成果を社会実装するには！

講師：＜共創機構＞

北岡康夫(機構長補佐／イノベーション戦略部門長)

井上隆弘(機構長補佐／産学官連携オフィス長)

奥田英一郎(イノベーション戦略部門 知的財産室長)

濱田格雄(イノベーション戦略部門 人材育成室長)

神谷俊行(共同研究支援室長)

甲田亨(利益相反マネジメント室長)

中村麻貴(渉外部門)

＜ゲストスピーカー＞

伊藤武志(社会ソリューションイニシアティブ 企画調整室長)

講師調整中

吹田 **オンライン** 9月頃(2日間) 16:00-18:00

〈キーワード〉産学共創、研究成果の社会実装、ベンチャー起業、知的財産、企業との共同研究

〈概要〉産学共創により研究成果を社会実装するために必要な基本知識として、ベンチャー起業および知的財産戦略の重要性、企業等との産学共創の進め方とリスクマネジメント、また産学共創に関わる各種契約書の基礎知識と留意点について学びます。

《問合せ先：共創推進部 共創企画課 総務係》 ☒ kyousou-kikaku-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：【期日】8月21日(水) 17:00

【申込方法】マイハンダイより申込 (https://my.osaka-u.ac.jp/admin/sangaku/ccb/shinnin/R6)

【申込時記載事項】所属、役職、氏名(ふりがな)、連絡先(メールアドレス、電話番号)、受講を希望する講座番号※「新任教員研修としての受講」の場合は、受講状況の管理のため、必ず阪大「個人ID(半角英数字)」をお知らせ願います。》



限定 情報科学研究科

## IST ランチセミナー

講師：情報科学研究科 教員

吹田 **週1回程度** 12:00-13:00

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室》 ☒ ura@ist.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：毎週、研究科内の教職員宛に受講に係る通知を予定。》



限定 生命機能研究科 FBS 研究室構成員(他部局所属者も可)

## 生命機能研究科コロキウム

講師：マイハンダイ掲載の年間予定表に準ずる

吹田 **オンライン** 毎週火曜日 12:15-13:00

〈キーワード〉生命科学、生命のしくみ、融合研究

〈概要〉週1回、各研究室が持ち回りで開催している研究セミナーです。最新の研究紹介、話題提供が行われ、お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《問合せ先：生命機能研究科 企画広報室》 ☒ kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：申込先：kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp まで。》



## アドバンストセミナー

講師：各回により異なる

吹田 **オンライン** 毎月1回(8月、3月を除く) 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催します。基本的に月1回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象です。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とします。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 ☒ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野、医学系研究科、その他理系生命系部局に開催案内を通知。オンサイトの場合は受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。オンラインの場合は事前申込制(メールで申込)。FD新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署まで申し込む。》



限定 微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター／医学系研究科

## 微研集談会

講師：各回により異なる

吹田 毎月第4火曜日(8月、12月、1月を除く) 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行います。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持ちます。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーです。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 ☒ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野、及び医学系研究科に開催案内を通知。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。FD新任研修としての受講希望者は、別途メールにて担当部署まで申し込む。》



限定 蛋白質研究所

## 蛋白研コロキウム

講師：各回によって異なる

吹田 **又はオンライン** 隔月1回程度(日程未定)

〈キーワード〉蛋白質分子、生体分子、構造生物学、データ科学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質研究所をハブとした大阪大学他部局との連携研究を促進することを目的とし、蛋白質を含む生体分子に関連する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》 ☒ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定。》



限定 情報科学研究科

## IST ネットワーキングイベント

講師：第一線で活躍する研究者

吹田 **オンライン** 隔月(年間5回)

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉情報科学研究科の教職員及び学生を対象とした、研究科外の関連研究者との交流イベントになります。関連のトピックの概観、共同研究のシーズ探し、研究の深め方、視野の広げ方を学ぶことを目的としています。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室》 ☒ ura@ist.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：毎回、研究科の教職員及び学生宛てに受講に係る通知を予定。》



※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。







## 研究能力 開発プログラム

### オープンサイエンス時代における 研究データマネジメントの基礎について学ぶ

講師：甲斐尚人(附属図書館 准教授)

**オンデマンド** 4月1日-3月31日

〈キーワード〉研究データマネジメント、オープンサイエンス、研究データ基盤、研究公正、研究データ管理計画、大阪大学研究データポリシー

〈概要〉世界的なオープンサイエンスの潮流によって、体系的かつ組織的な研究データマネジメントの重要性やそのあり方が近年注目されています。競争的資金においても、研究データ管理計画の策定や論文のオープンアクセスが求められつつあり、2025年度より新たに公募する対象研究費については、論文及び根拠データの即時オープンアクセスを義務づけるよう決定されました。このような状況を踏まえ、本研修では、オープンサイエンスの動向や本学の研究データポリシーの解説を行うとともに、研究データライフサイクルの各段階の留意点や本学の研究データ基盤整備の状況等について説明します。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係》  
✉ research-plan@office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：受講URL：R6開催のURL（後日マイハンダイに掲載）（事前申込不要）  
受講完了には、確認問題とアンケートの回答が必須です。》



### オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援

講師：図書館職員

**オンデマンド** 6月1日-3月31日

〈キーワード〉オープンアクセス、論文掲載料、転換契約、粗悪学術誌・ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ、大阪大学オープンアクセス方針

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料（APC）を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、粗悪学術誌（いわゆるハゲタカジャーナル）の出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向を学びます。加えて、大阪大学におけるオープンアクセスへの支援内容を理解します。

《問合せ先：附属図書館 図書館企画課 企画係》  
✉ tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：事前申込不要・大阪大学CLEにて動画を配信します。受講後所定のフォームから受講報告をしていただきます。》



### 阪大ブランドの発信地としての大学博物館

講師：伊藤謙(ミュージアム・リンクス 講師)

**豊中** 6月7日 13:30-15:00

〈キーワード〉大学博物館、アウトリーチ、研究、教育

〈概要〉大阪大学総合学術博物館では、展示を通じて大学の源流や大阪大学で行われた研究を社会に発信し、また展覧会・サイエンスカフェを研究教育のアウトリーチや成果発表の場として活用しています。本プログラムではアウトリーチや成果発表の場を通して、阪大ブランドを社会に発信する方法を考えます。

《問合せ先：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係》  
✉ kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：5月中旬頃に受講者募集に係る通知を予定。》



### アートを通じた社会との共創ー中之島芸術センターの活用

講師：永田靖(中之島芸術センター 特任教授)

**中之島センター** 5月-7月頃（日程未定）

〈キーワード〉芸術、社学共創、中之島芸術センター

〈概要〉2023年4月にリニューアルした中之島センターに拠点を置く「中之島芸術センター」は、アートを通じた教育研究と社学共創の理念や手法を探求し、また実践しています。中之島芸術センターがどのようなアートを通じた社会との共創を推進しようとしているのか、今までの実例やこれからの展望について紹介します。

《問合せ先：中之島芸術センター 事務室》  
✉ secretary.art@ml.office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：開催の約1ヵ月前に各部局宛に受講者募集の案内に係る案内を发出予定（ICHO掲示板に掲載）  
希望者は、Webフォームにて申し込み形とする予定。》



### 社学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

※掲載内容は2月末時点の情報です。  
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。





## マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

限定 産業科学研究所

## 産研メンター制度利用者に向けての講演会

講師：未定

吹田 未定 **オンライン** 対面開催後-3月31日

〈キーワード〉メンタリング、ロールモデル、人材育成、支援、助言、メンティ、メンター

〈概要〉令和5年10月から産研メンター制度を試行的に実施しており、メンター制度の概要、制度先行大学における効果等について説明し、産研所属教職員が制度への理解を深めるとともに、制度適用有資格者のメンティ又はメンター候補者への応募を促進させることを目的とします。  
また、産研メンター制度を利用しない教職員についても、メンタリング等について知識を得ることにより、部下や学生等への適切な指導に役立てることを目的とします。

《問合せ先：産業科学研究所 戦略室 [✉sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：産業科学研究所内に受講者募集に係る通知を予定（日時未定）。  
[✉sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp)》

対面：50名  
 2時間  
 日本語  
 対面  
オンデマンド

限定 基礎工学研究科

## 基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会

講師：基礎工学部長・基礎工学研究科長  
事務部 等

**オンライン** 未定

〈キーワード〉説明、配付資料、基礎工学部・基礎工学研究科、教育、研究、学生支援、ハラスメント防止、事務手続き

〈概要〉「基礎工学部・基礎工学研究科の沿革と現在」、「研究企画推進について」、「基礎工学部・基礎工学研究科の教育」、「基礎工学部・基礎工学研究科の学生支援」、「ハラスメント防止の重要性」、「基礎工学研究科における事務手続きについて」という6つの講義において講師が説明を行い、最後に質疑応答を行います。  
基礎工学部・基礎工学研究科の教育を担当することになった教員等を対象に、大阪大学、基礎工学部、基礎工学研究科の現状についての認識を深めるとともに、大学教育を担当する教員として、教育に関する力を高めることを目的とします。

《問合せ先：基礎工学研究科 人事係 [✉ki-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ki-jinji@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月以降に対象者向け通知を発行予定。対象者は参加の可否をメールで回答します。》

制限なし  
 3時間  
 日本語  
 オンライン

限定 工学研究科

## 工学研究科新任者研修

講師：工学研究科長・教授

大阪大学ハラスメント相談室 専門相談員  
その他講師

吹田 未定

〈キーワード〉工学研究科、研究倫理、研究不正防止、財務基本知識、ハラスメント防止、教員・事務系職員のチームビルディング

〈概要〉工学研究科を取り巻く状況、工学研究科におけるコンプライアンスの取り組み、工学研究科の財務基本知識、工学研究科の研究力強化、フューチャー・デザイン、ハラスメントを回避する方法、交流研修等により構成され、全体で約6時間を予定し、工学研究科の新任教職員を対象とします。  
新たに工学研究科に赴任され、教育・研究又は事務を担当する教職員を対象に、本研究科の現状を認識し、大学における教育・研究およびその支援を担当する教職員としての使命、役割、心構えを持つことを目的とする。円滑に業務を遂行するために、教員・事務系職員との交流を促進します。

《問合せ先：工学研究科 総務課 人事係 [✉kou-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kou-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：開催1カ月前頃、研究科内対象者宛に通知を予定（メール配信）  
出欠の可否について、直接担当部署宛に連絡いただく予定。》

約30名  
 6時間  
(予定)  
 日本語  
 対面

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

限定 令和6年4月1日以降新たに採用された教員、研究員及び職員

## 大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)

講師：西尾章治郎(大阪大学 総長)

金田安史(大阪大学 理事)  
田中敏宏(大阪大学 理事)  
豊岡宏規(大阪大学 理事[~令和6年6月中旬])  
井上恵嗣(大阪大学 理事[令和6年6月中旬~])

**オンライン** 4月1日-3月31日（予定）

〈キーワード〉ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社学共創、産学共創、ダイバーシティ&インクルージョン、研究推進、人事・労務

〈概要〉新任教職員に対して、役員等による講義を行います。  
本学の教職員としての自覚と意識の確立を図り、新任教職員として、大学に課せられたコンプライアンス等、必要な基礎的知識を身につけ、職場への適応力を養い、もって、教職員の資質の向上を図ることを目的とします。

《問合せ先：総務部 人事課 人材育成係 [✉soumu-jinji-ikusei@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-jinji-ikusei@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：CLEより各自受講してください。受講後アンケートの提出をもって受講完了となります。  
受講URL:[https://www.cle.osaka-u.ac.jp/webapps/blackboard/content/listContentEditable.jsp?content\\_id=\\_1609324\\_1&course\\_id=\\_185324\\_1](https://www.cle.osaka-u.ac.jp/webapps/blackboard/content/listContentEditable.jsp?content_id=_1609324_1&course_id=_185324_1)》

制限なし  
 2時間  
 日本語  
 オンデマンド

限定 産業科学研究所

## 産研安全講習会

講師：技術職員

**オンライン** 4月中旬-5月中旬

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉産研に新しく来られた学生・教職員全員を対象に行う安全衛生講習会です。  
〈目的〉化学実験、高圧ガス・薬品管理、工作機械取扱、電気管理、ネットワーク利用などについて知識を習得することを目的とします。

《問合せ先：産業科学研究所 技術室 松崎剛 [✉matuzaki@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:matuzaki@sanken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月に電子メールにて所内へ申込方法など通知。》

制限なし  
 2時間  
 日本語  
 オンデマンド

限定 産業科学研究所

## バイオセイフティー講習会

講師：バイオセイフティー担当教員

**オンライン** 4月下旬-5月下旬にアップロード予定

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。  
〈目的〉遺伝子組み換え実験、動物実験を安全に行うための注意事項、関連法並びに関係書類の作成方法等について、周知徹底を図ることを目的としています。

《問合せ先：産業科学研究所 西野邦彦 [✉nishino@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:nishino@sanken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月～5月に電子メールにて所内等へ通知。》

50名  
 2時間  
 日本語  
 オンデマンド

## 新任教職員安全衛生講習会

講師：未定

**対面(未定)** **オンライン** 5月頃（未定） **オンライン** 6月頃-3月末

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条（雇入れ時等の教育）に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てることを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 [✉anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各自申し込むこと。》

未定  
 1時間  
 日本語  
 対面(未定)  
オンライン  
オンデマンド

※掲載内容は2月末時点の情報です。  
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドイ」(FD 関係)にてご確認ください。





## マネジメント能力 開発プログラム

限定 蛋白質研究所

### 蛋白研安全講習会

講師：未定

吹田 又は オンライン 未定 (5月頃)

〈キーワード〉安全管理

〈概要〉本研究所において実験に従事する学生・教職員を対象に、遺伝子組換え実験、動物実験、RI実験などに関する法令を理解すること、および知識に基づく安全かつ適切な実験物管理法を習得することを目的として講習を行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》 ☐ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部長構成員宛てメールにて通知予定。》



### 大阪大学化学薬品管理支援システム (OCCSIV) の利用について

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

豊中 吹田 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 6月頃-3月末

〈キーワード〉大阪大学化学薬品管理支援システム (OCCSIV)

〈概要〉大阪大学化学薬品管理支援システム (OCCSIV) の使用方法 (化学薬品の登録と集計) を習得することを目的としています。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深めます。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》 ☐ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各自申し込むこと。》



### 実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

豊中 吹田 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 6月頃-3月末

〈キーワード〉実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者が実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》 ☐ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各自申し込むこと。》



### 非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

豊中 吹田 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 6月頃-3月末

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉非化学系(生物系・物理系)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員を対象に、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について解説します。非化学系(生物系・物理系等)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》 ☐ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各自申し込むこと。》



### 詳解：化学物質安全取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

豊中 吹田 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 6月頃-3月末

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》 ☐ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各自申し込むこと。》



### 高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編)

講師：竹内徹也(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 教授)

豊中 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 6月頃-3月末

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》 ☐ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各自申し込むこと。》



### 高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編)

講師：中本将嗣(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 兼任准教授)

吹田 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 6月頃-3月末

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》 ☐ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各自申し込むこと。》



### 大阪大学高圧ガス管理支援システム (OGCS) 利用講習

講師：中本将嗣(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 兼任准教授)

豊中 吹田 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 6月頃-3月末

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム (OGCS)

〈概要〉高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理支援システム (OGCS) を使用する教職員が使用方法を習得します。部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理支援システム (OGCS) の使用方法について説明します。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》 ☐ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各自申し込むこと。》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月末時点の  
情報です。  
最新情報は各開催部局に  
お問い合わせいただく  
か、学内ポータルサイト  
「マイハンダイ」(FD 関  
係)にてご確認ください。



## マネジメント能力 開発プログラム

### 電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 教授)

豊中 吹田 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 6月頃-3月末

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 ☐ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各自申し込むこと。》



限定 理学研究科

### 理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会

講師：未定

豊中 オンライン 6月下旬-7月上旬 ※開催形式未定 オンデマンド 10月-11月頃

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉理学研究科教職員を対象に、ハラスメントに関する講演を行います。  
ハラスメント防止のための意識啓発に資することを目的としています。

《問合せ先：理学研究科 人事係 ☐ ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催が決定次第、研究科構成員あて通知及びポスターの掲示を予定。申込は不要。》



### ハラスメント防止等に関する研修会

講師：未定

オンライン 7月上旬 (日時未定)

〈キーワード〉ハラスメント問題、人権問題

〈概要〉ハラスメント問題に関して正しい理解と認識を深めることを目的とし、ハラスメント問題(テーマは未定)について講師より  
お話をさせていただきます。

《問合せ先：総務部 総務課 法規係 ☐ soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催月の1か月程前に受講者募集に係る通知を予定。》



### より良い人間関係の育み方

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 7月 開催予定

〈キーワード〉コミュニケーション、感情のコントロール、他者視点、レジリエンス、ハラスメント

〈概要〉私たちは、性別・国籍・能力・思想・思考・成育歴・性格・ストレスの脆弱性など個々それぞれで、好き嫌い、馬が合う合わないがあるのは当然です。唯一共通していることは「人間であること」です。同じ人間として、互いに敬意を込めて関わる  
ことが、より良い人間関係を育む第一歩です。より良い人間関係は、円滑な業務・研究/教育活動の土台となり、ひいてはハ  
ラスメント防止、メンタルヘルス対策にもなります。この研修では、良い人間関係を育む心構えとコミュニケーションスキル  
を紹介させていただきます。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室  
☐ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールで申し込みください。  
☐ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



### 事例検討 ハラスメント防止のために

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 7月 開催予定

〈キーワード〉ハラスメント、加害者心理、被害を未然に防ぐスキル(断る・逃げる・止める)、レジリエンス

〈概要〉ハラスメント事例について、加害者・被害者・傍観者の視点から、どこが問題であったのか、未然に防ぐためには何をする  
べきであったのかについて、参加者の皆様にグループディスカッションをしていただきます。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室  
☐ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールで申し込みください。  
☐ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



※掲載内容は2月末時点の  
情報です。  
最新情報は各開催部局に  
お問い合わせいただく  
か、学内ポータルサイト  
「マイハンダイ」(FD 関  
係)にてご確認ください。